新品種候補（2021 年１月作成）

育種事業課題名：てんさい新品種候補「KWS 8K860」の概要（722511）

担当部署：北見農試・研究部・麦類畑作グループ、十勝農試・研究部・豆類畑作グループ、
中央農試・作物開発部・作物グループ、上川農試・研究部・生産技術グループ、
北海道農産協会

キーワード：てんさい、根重、糖量、耐病性

１．特性一覧表

系統名：「KWS 8K860」　交配：「MS 144JF1791」×「PS 144RV6460」
特性：長所１　根重が多く、糖量が多い。
　　短所１　根腐病抵抗性が“やや弱”である。
普及見込面積：令和３年度 300ha　　令和４年度以降 15,000ha

試験場所	北見農試、十勝農試、中央農試、北海道農産協会		
調査年次	平成 30 年，令和元，２年		
品種・系統名	KWS 8K860	アマホマレ （標準品種）	カーベ 2K314 （対照品種）
倍数性	二倍体	三倍体	二倍体
種子の胚数	単胚	単胚	単胚
胚軸の赤色個体	多	やや多	多
草姿	やや直立	中間	直立
葉長	長	中	長
葉数	やや少	中	中
葉色	濃緑	緑	やや濃緑
葉形	披針	楕円	やや披針
葉面縮	やや少	少	中
葉身の大きさ	中	中	小
葉柄長	中	中	長
葉柄の太さ	やや太	やや太	やや太
根形	やや短円錐	やや短円錐	やや短円錐
根重（t/10a）	8.54（118）	7.25（100）	7.80（108）
根中糖分(%)	16.03（95）	16.93（100）	16.14（95）
糖量(kg/10a)	1369（112）	1227（100）	1260（103）
抽苔耐性	強	強	強
そう根病抵抗性	強	弱	強
褐斑病抵抗性	強	中	強
根腐病抵抗性	やや弱	弱	中
黒根病抵抗性	やや強	中	やや強

注１）形態的特性は北見農試の直播栽培による成績。
２）根重、根中糖分および糖量は、北見農試、十勝農試および北海道農産協会（３か所）ののべ14か所平均で、括弧内は「アマホマレ」に対する百分比。
３）特性検定は抽苔耐性（北見農試、令和元，２年）、そう根病抵抗性（北見農試、平成30～令和２年）、褐斑病抵抗性（十勝農試、平成30～令和２年）、根腐病抵抗性（十勝農試、平成30～令和２年）、黒根病抵抗性（中央農試、平成30～令和２年）の成績。

２　特記すべき特徴

「KWS 8K860」は、「カーベ 2K314」と比較して、根重が多く、根中糖分はほぼ並で、糖量が多い。耐病性は、そう根病抵抗性、褐斑病抵抗性が“強”、黒根病抵抗性が“やや強”、根腐病抵抗性が“やや弱”であり、根腐病抵抗性を除いて「カーベ 2K314」並である。

３　優良品種に採用しようとする理由

北海道の農家戸数の減少の中、てんさい作付け農家戸数およびてんさい作付面積も減少傾向にある。一方で、北海道全体のてんさいの総生産量は、農家一戸あたりの作付面積の拡大やてんさい品種の収量性向上により、この十年間、ほぼ一定量を維持している。しかし、今後も農家戸数の減少が進むと推測されるので、てんさい糖の生産量を維持するには、てんさい品種のさらなる収量性の向上が必要である。また、収量性が向上したてんさい品種を導入することで、農家の収益性が向上し、てんさい栽培農家減少の歯止めの一助となると考えられる。

「KWS 8K860」は、「カーベ 2K314」（平成 28 年北海道優良品種認定）より根重、糖量が約 10％向上している。また、てんさいの重要病害である「そう根病」「褐斑病」「黒根病」に、「カーベ 2K314」と同様に抵抗性を持ち、耐病性に優れる。

以上から、「KWS 8K860」を「カーベ 2K314」の大部分に置き換えて普及させることで、てんさい生産の安定と農家所得の向上に寄与できる。

４　普及見込み地帯

北海道一円

５　栽培上の注意

１）根腐病抵抗性が“やや弱”であるため、適切な防除に努める。

図「KWS 8K860」の糖量

●　：てん菜輸入品種検定試験、品種連絡試験成績
「カーベ 2K314」対比％（平成 30, 令和元, ２年平均、
北見農試は平成 30, 令和元年平均）

■　：輸入品種現地検定試験成績
「アマホマレ」対比％、斜字体は各地区代表品種対比％
（令和元、２年平均）
地区代表品種は、
真狩村：「リボルタ」（令和元年）
「アンジー」（令和２年）
美瑛町：「カーベ 2K314」
斜里町：「パピリカ」